

小川郷太郎 （きょうたろう） 政治家、財政學者、法學博士。明治九年六月九日岡山縣生れ、昭和二十年四月一日歿（一八七六—一九四五）。舊姓村山、號松軒。明治二十六年東京帝國大學法科大學卒。歐洲留學後京都帝大教授に就任。大正八年衆議院議員（當選八回）、大藏政務次官、商工相、鐵道相歷任。昭和十八年ビルマ政府最高顧問となり、病院船阿波丸で歸任途中撃沈遭難死。

著書「經濟隨想」（合著・東京朝日新聞經濟部編、昭和二年五月七日日本評論社）、（第六十五回）「帝國議會代表雄辯集」附各國務大臣答辯（合著・檜垣清人編、昭和九年二月二十一日日本講演通信社）等。

